

信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2024年度下期調査)

定例調査

中小企業金融の動向を把握し、信用補完制度の円滑な運営に資するため、以下の各項目について調査を実施

【中小企業向け貸出】

○中小企業向け貸出D.I.は、2.2と横ばい、4期連続でプラス。
次期見込みは1.6と横ばい。

【信用保証付貸出】

○信用保証付貸出D.I.は、▲10.4とやや低下し、3期連続でマイナス。
次期見込みは▲8.3とやや上昇。

【信用保証付貸出における条件変更】

○条件変更D.I.は、13.5と低下したものの、10期連続でプラス。
次期見込みは12.4と更に低下。

【金融機関から信用保証協会への代位弁済請求】

○代位弁済D.I.は、23.4とやや低下したものの、11期連続でプラス。
次期見込みは19.4と更に低下。

特別調査

創業支援に関する取組みについて調査を実施

【創業支援に関する資金ニーズ、課題、特に注力している取組み等】

○創業支援に関する資金ニーズへの対応については、事業の新規性の有無に関わらず、「保証付き融資」により対応するケースが多い(既存の技術やビジネスモデルを活用した創業:74.7%、新しい技術やビジネスモデルを活用した創業:71.1%)。

○創業支援に関する金融機関の課題については、既存の技術やビジネスモデルを活用した創業では、「融資後のモニタリング、フォローアップ」(68.0%)が最も多く、新しい技術やビジネスモデルを活用した創業では、「事業に関するリスクの把握」(64.4%)が最も多い。

○金融機関が特に注力している創業支援の取組みのうち、金融機関独自に行っている取組みは、「販路開拓支援(商談会・ビジネスマッチング等)」(57.2%)が最も多い。保証協会と連携して行っている取組みについては、「専門家の紹介・派遣」及び「経営者保証を徴求しない融資の促進」(40.9%)が最も多い。

<お問い合わせ先>

株式会社日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険情報室 保険分析グループ (担当: 城所、大羽、森田)

TEL: 03-3270-2384 FAX: 03-3242-0033

<調査の要領>

調査時点	2024年10月
調査方法	郵送またはWeb(電子帳票のダウンロード)による記名式アンケート調査
調査対象	267の金融機関(都市銀行5、地方銀行62、第二地方銀行37、信用金庫131、信用組合32) (信用金庫および信用組合については各々一定額以上の保証債務残高を有する金融機関)
回答数	255の金融機関(都市銀行5、地方銀行57、第二地方銀行33、信用金庫130、信用組合30)
回答率	95.5%

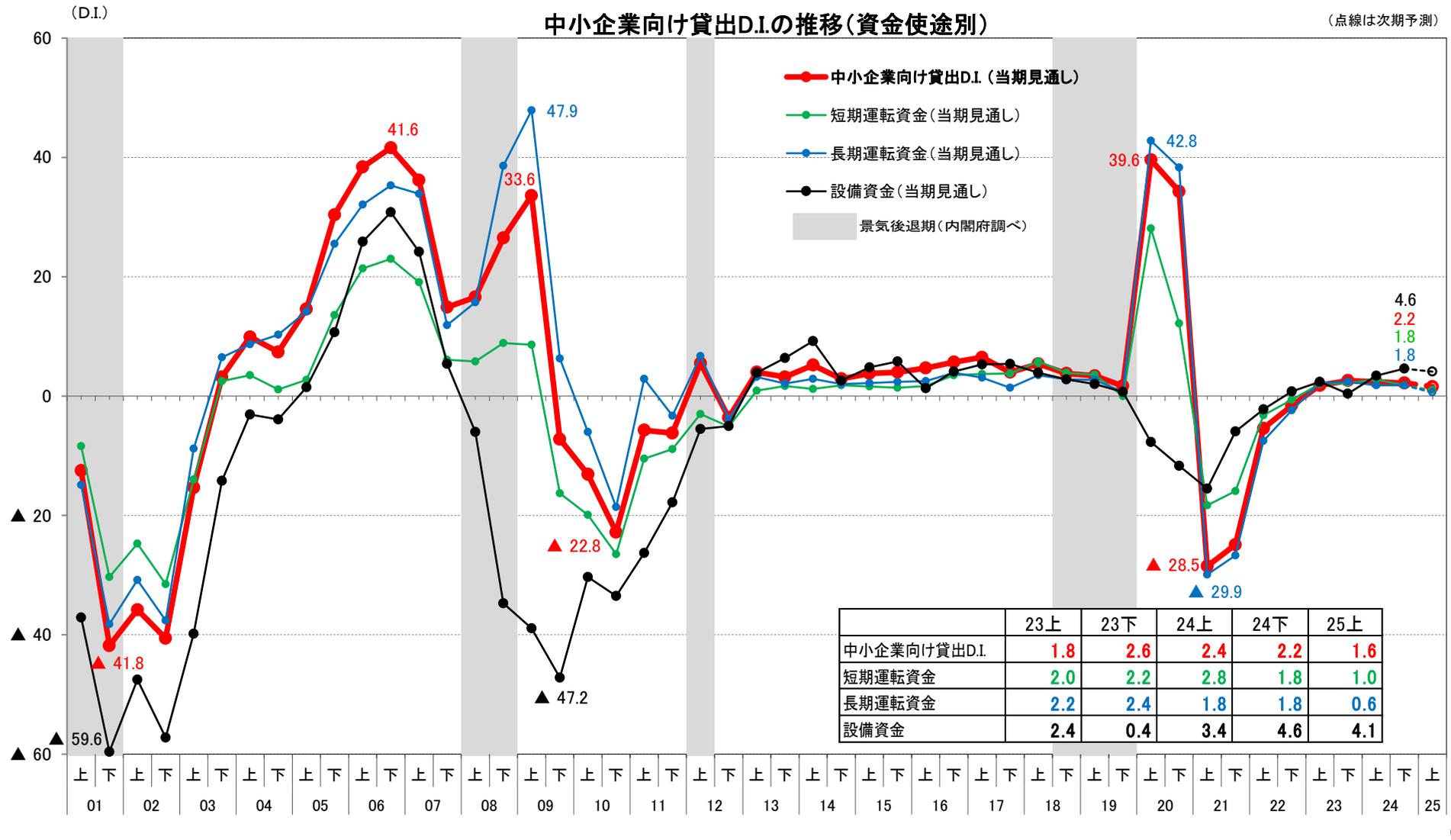
(注) D.I. = (「増加」と回答した金融機関の割合 + 0.5 × 「やや増加」と回答した金融機関の割合) - (「減少」と回答した金融機関の割合 + 0.5 × 「やや減少」と回答した金融機関の割合)。
前年同期比での増減見通し。

(注) 各地域別の集計は、都市銀行の回答は含まず、以下の都道府県に本店を構える金融機関の回答を集計したもの。

- 東北・北海道【32/33】: 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 - 関東甲信越【83/86】: 新潟、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
 - 東海・北陸【48/49】: 静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井
 - 近畿【34/37】: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 - 中国【19/20】: 鳥取、島根、岡山、広島、山口
 - 四国【15/15】: 香川、徳島、高知、愛媛
 - 九州・沖縄【24/27】: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
- (注) 【 】内の数字は、回答金融機関数／調査対象機関数。

1. 中小企業向け貸出の動向について

- ・中小企業向け貸出D.I.は、横ばい、4期連続でプラスとなった。次期は横ばいの見込み。
- ・資金使途別にみると、短期運転資金はやや低下、長期運転資金は横ばい、設備資金はやや上昇。

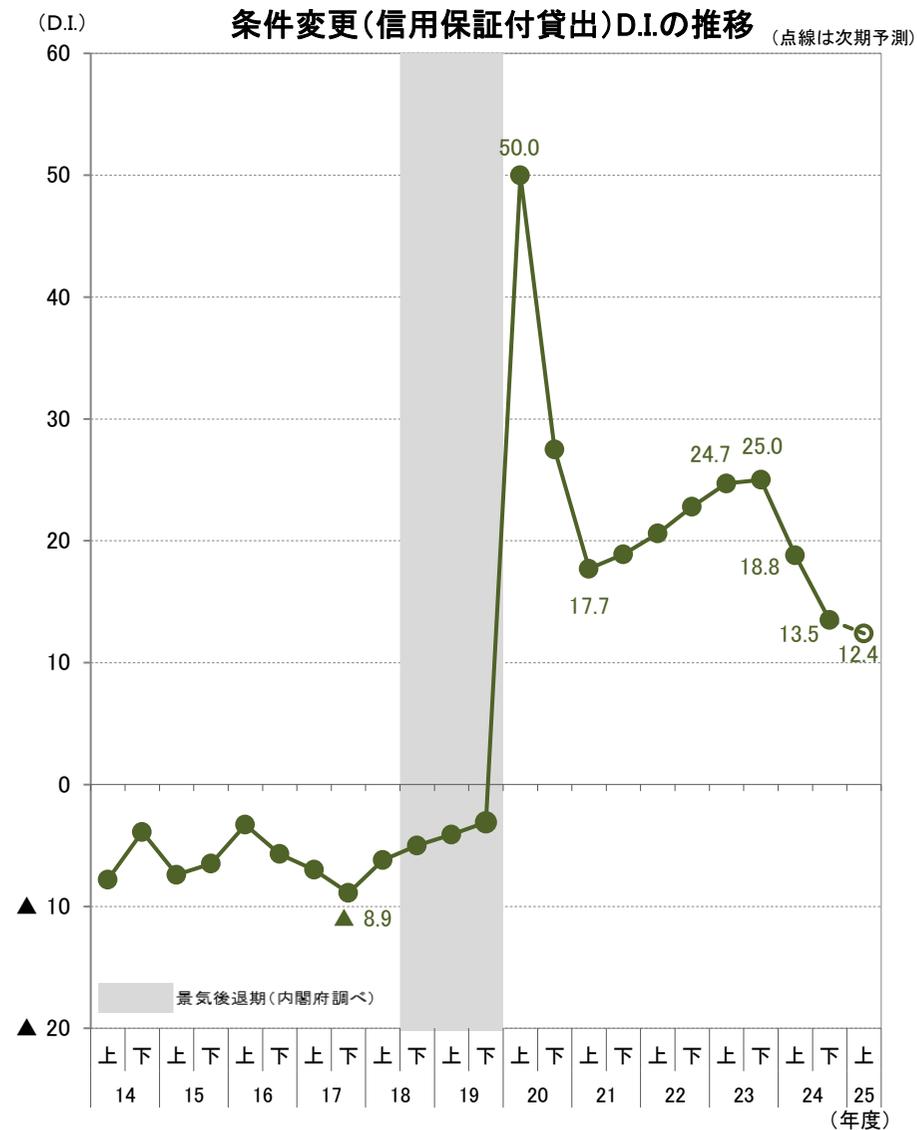
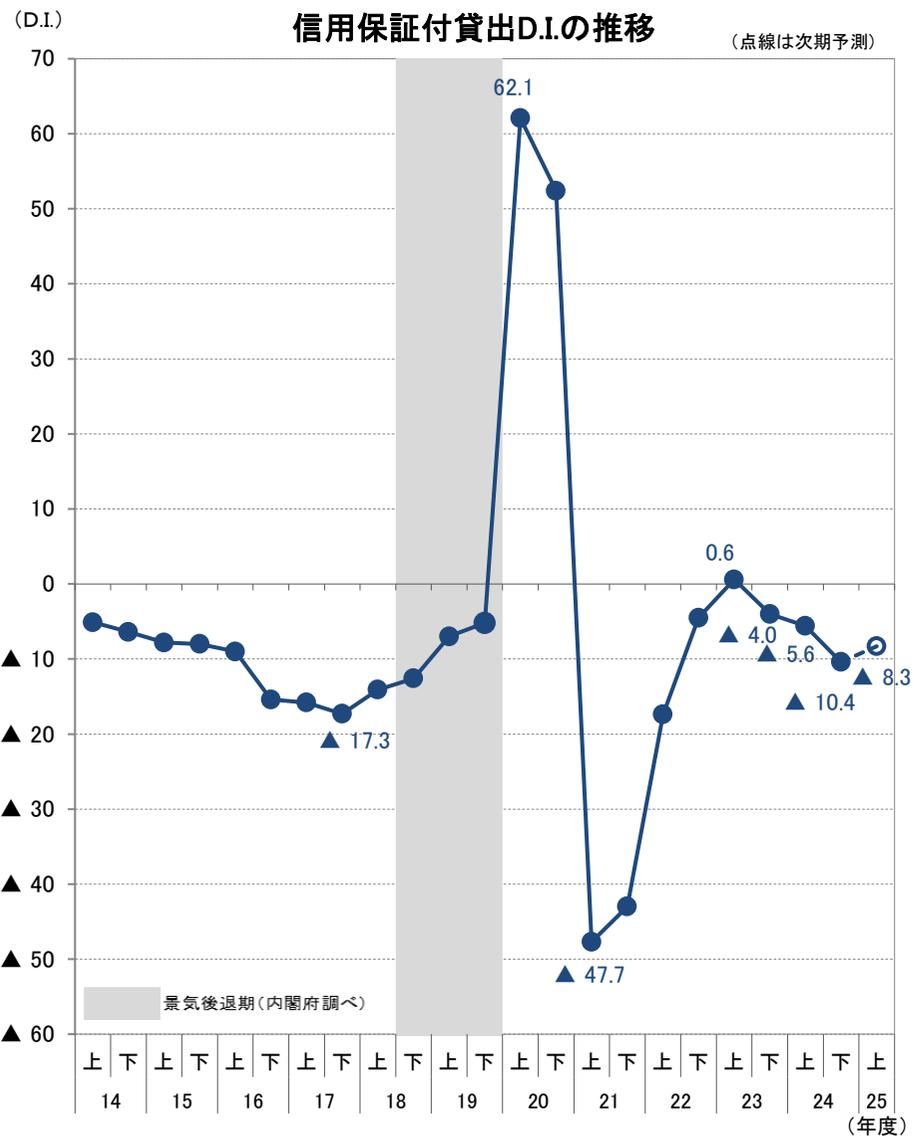


(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

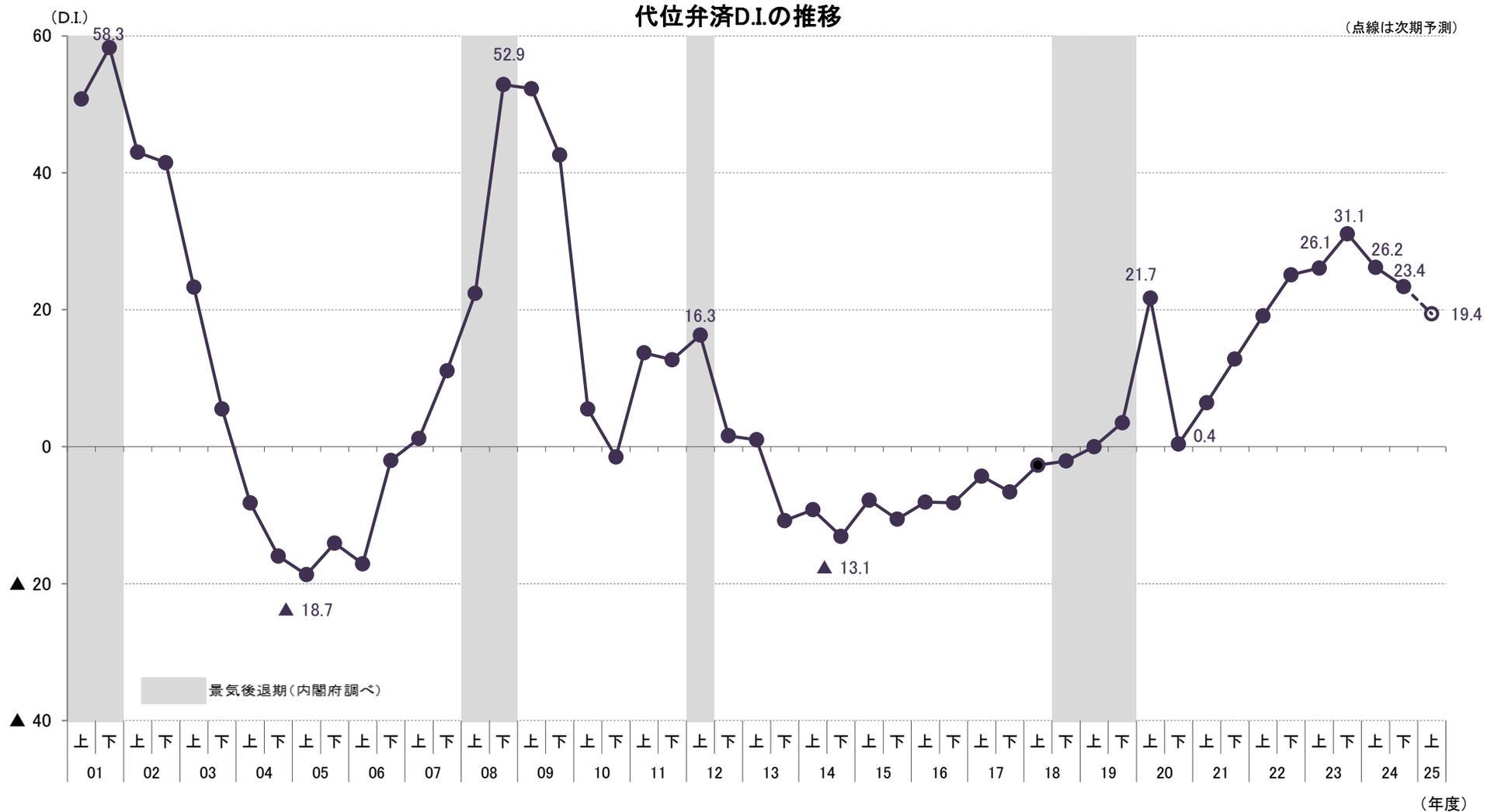
2. 信用保証付貸出の動向について

- ・信用保証付貸出D.I.は、やや低下し、3期連続でマイナスとなった。次期はやや上昇する見込み。
- ・信用保証付貸出における条件変更D.I.は、低下したものの、10期連続でプラスとなった。次期は更に低下する見込み。



3. 代位弁済の動向について

・代位弁済D.I.は、やや低下したものの、11期連続でプラスとなった。次期は更に低下する見込み。



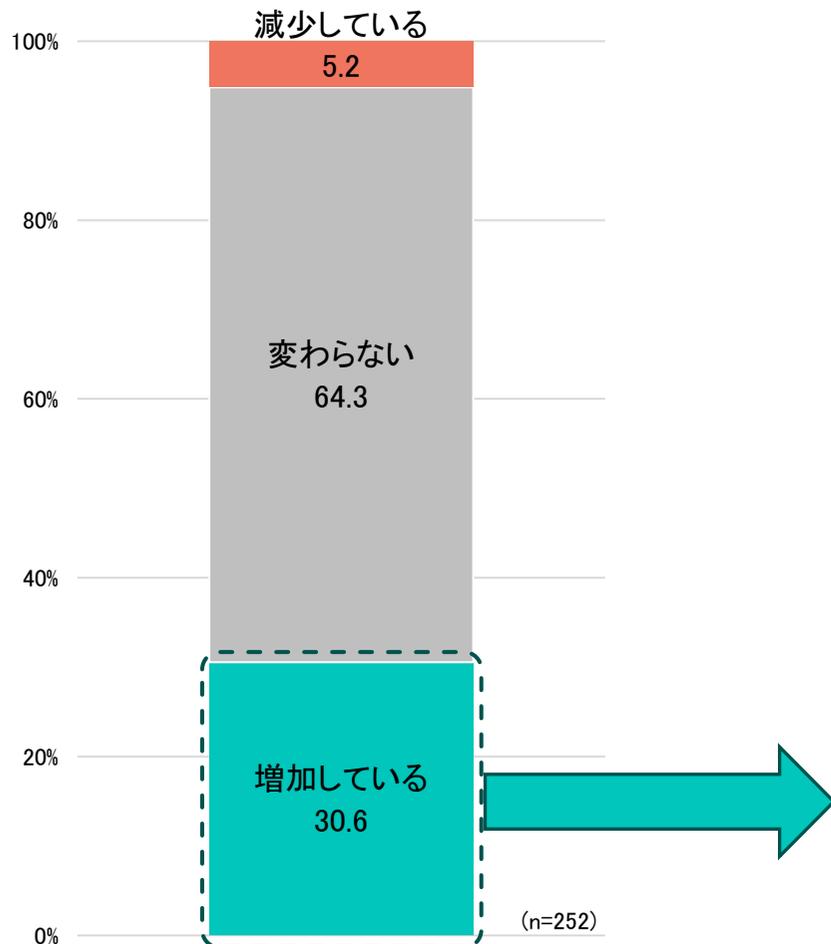
(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

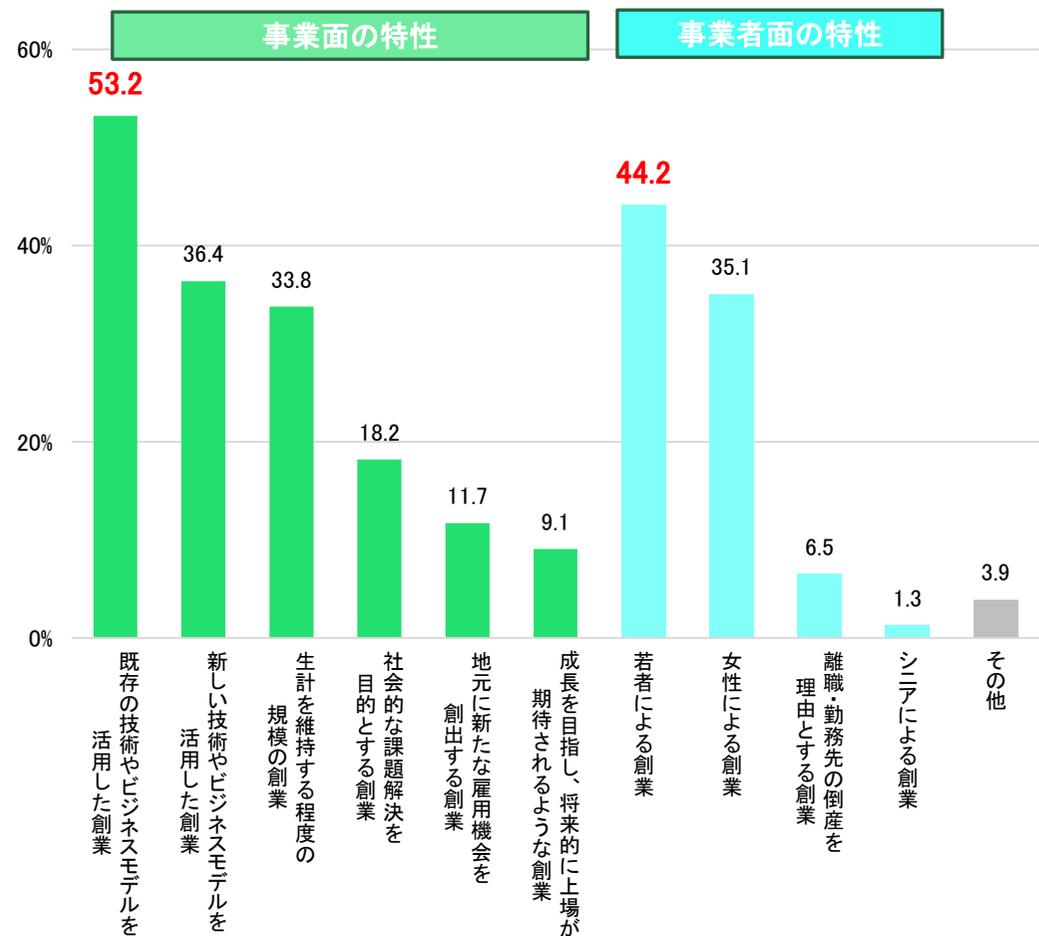
1. 創業支援に関する資金ニーズについて

- ・コロナ禍前と比較した創業支援に関する資金ニーズの変化は、「変わらない」(64.3%)が最も多く、次いで「増加している」(30.6%)、「減少している」(5.2%)となっている。
- ・創業支援に関する資金ニーズが増加している金融機関における資金ニーズについては、事業面では「既存の技術やビジネスモデルを活用した創業」(53.2%)に関するものが最も多く、事業者面では「若者による創業」(44.2%)に関するものが最も多い。

(1) コロナ禍前と比較した資金ニーズの変化について



(2) 増加している金融機関における資金ニーズについて



(注) 複数回答(いくつでも回答可)のため、合計は100%を超える。

(n=77)

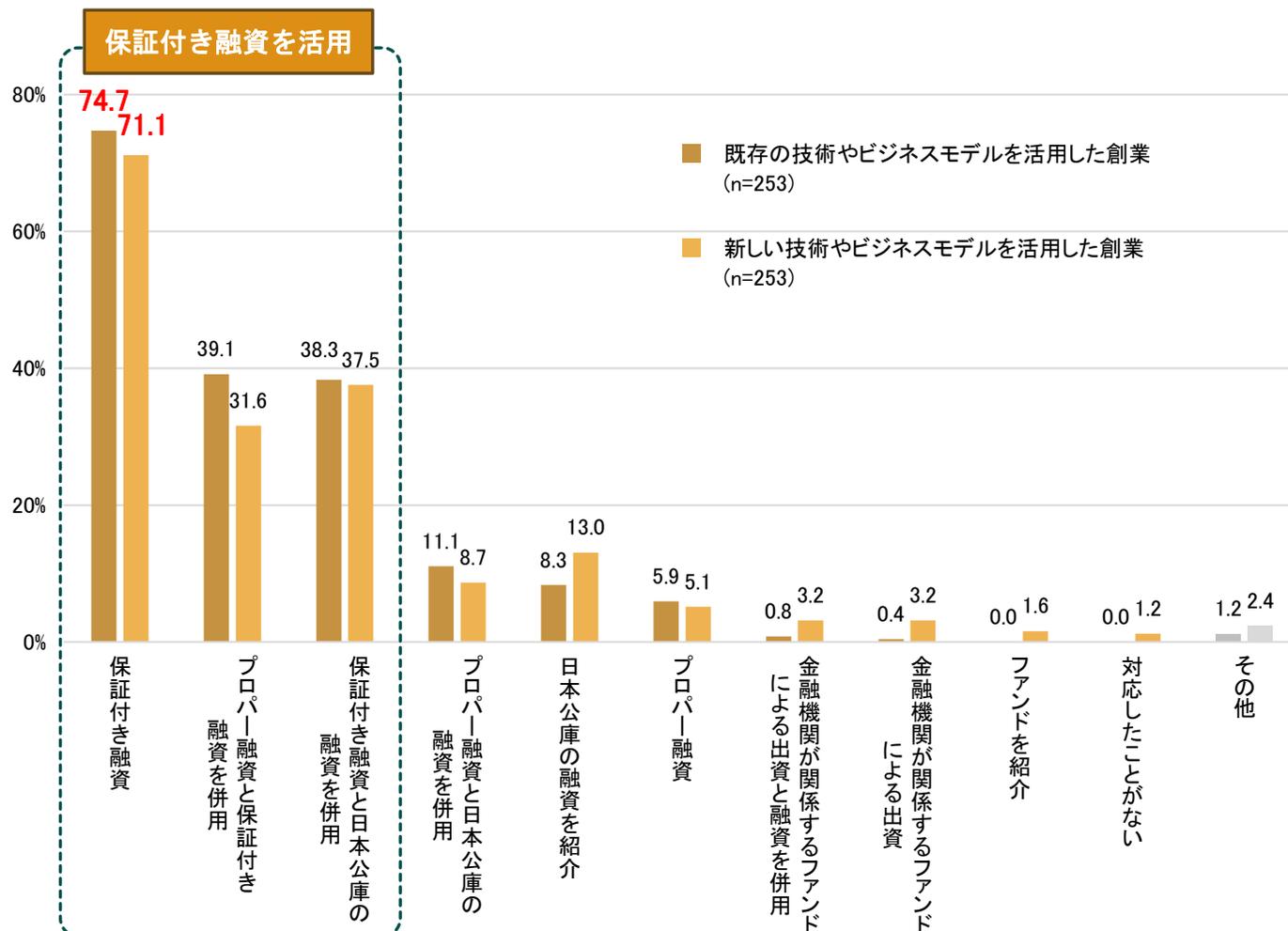
特別調査 創業支援に関する取組みについて

2. 創業支援に関する資金ニーズへの対応

- ・創業支援に関する資金ニーズへの対応については、事業の新規性の有無に関わらず、「保証付き融資^(※)」により対応するケースが多い（既存の技術やビジネスモデルを活用した創業：74.7%、新しい技術やビジネスモデルを活用した創業：71.1%）。
- ・創業支援に関する信用保証制度の今後の利用見通しは、「変わらない」（73.6%）が最も多く、次いで「増加する」（24.8%）、「減少する」（1.6%）となっている。

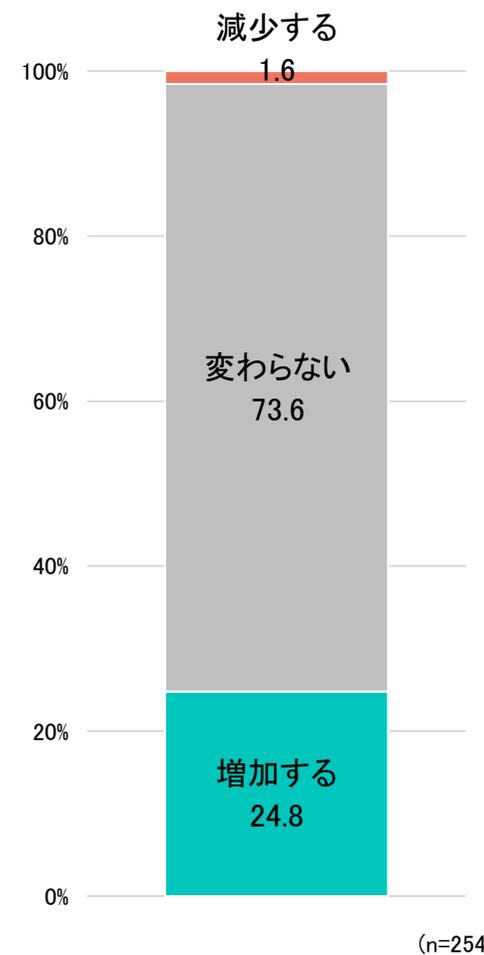
※「保証付き融資」とは、信用保証協会を利用した保証付き融資を指す（以下、同じ）。

(1) 資金ニーズへの対応について



(注)複数回答(2つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

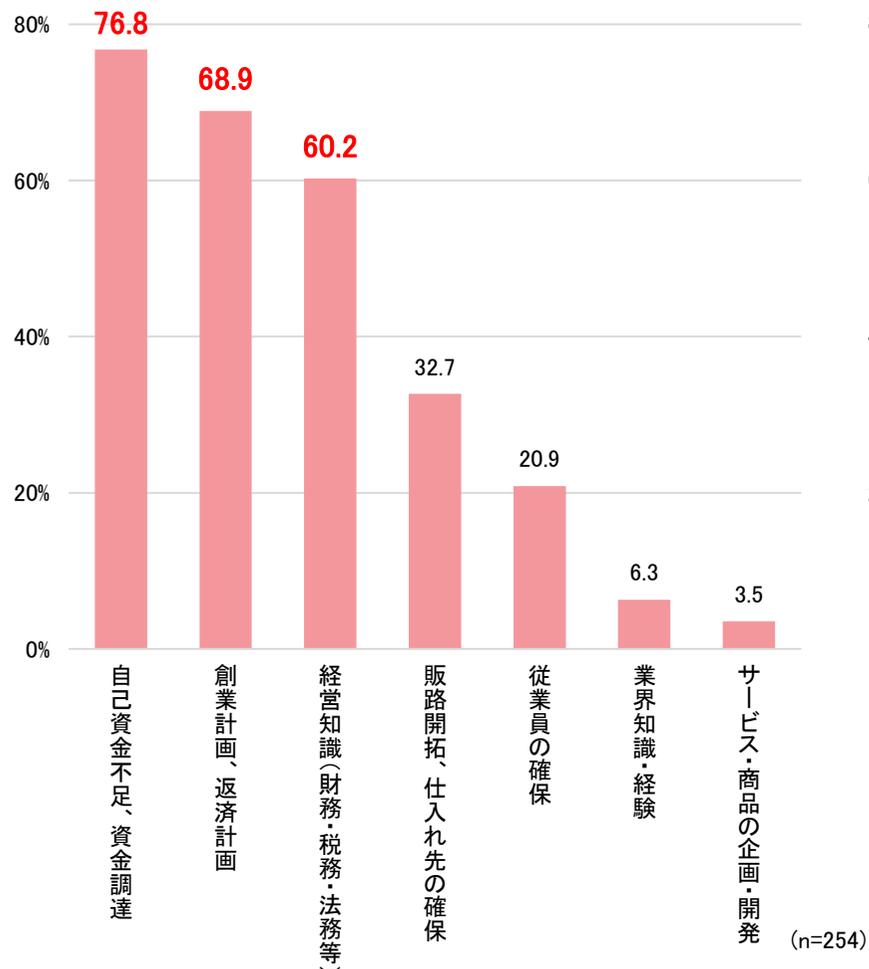
(2) 信用保証制度の今後の利用見通し



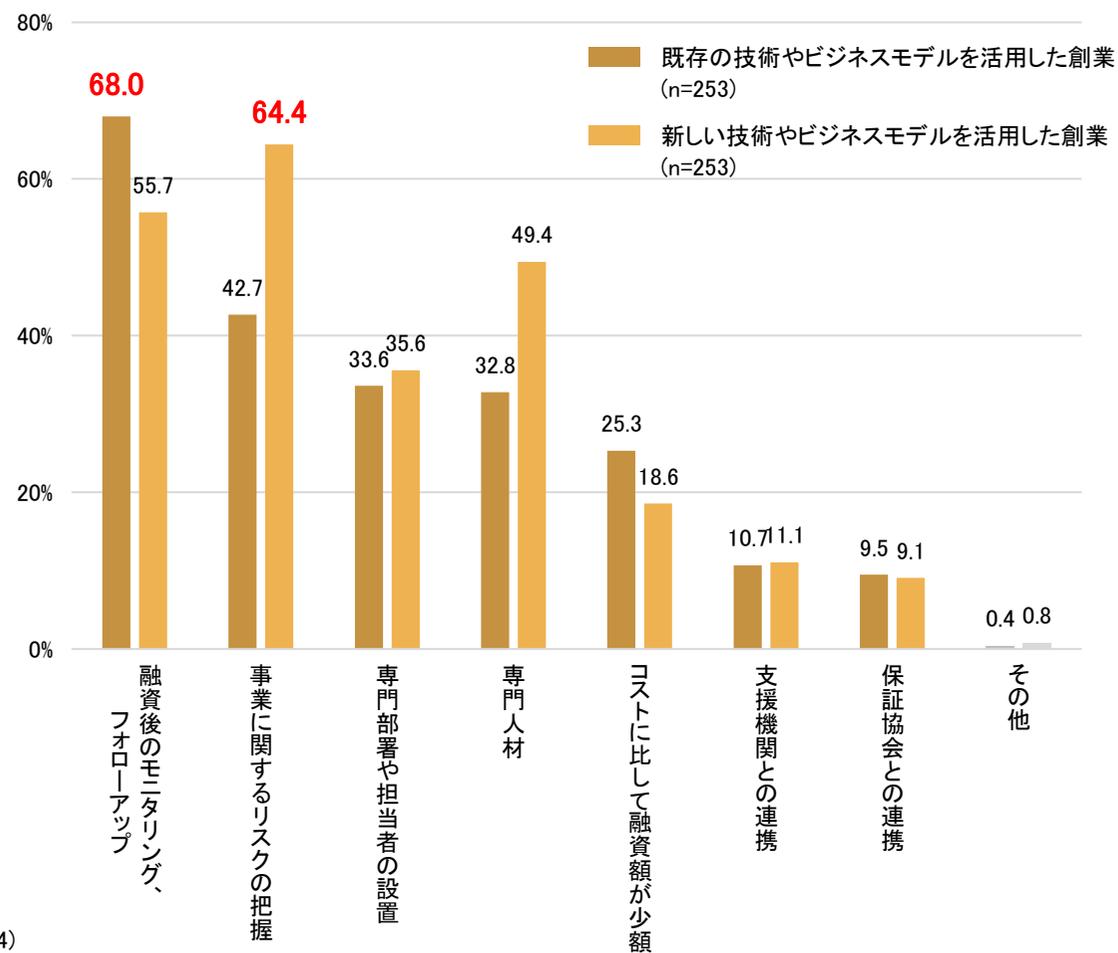
3. 創業支援に関する事業者の課題及び金融機関の課題

- ・金融機関の考える創業支援に関する事業者の課題は、「自己資金不足、資金調達」（76.8%）が最も多く、次いで「創業計画、返済計画」（68.9%）、「経営知識（財務・税務・法務等）」（60.2%）の順となっている。
- ・創業支援に関する金融機関の課題については、既存の技術やビジネスモデルを活用した創業では、「融資後のモニタリング、フォローアップ」（68.0%）が最も多く、新しい技術やビジネスモデルを活用した創業では、「事業に関するリスクの把握」（64.4%）が最も多い。

(1) 事業者の課題



(2) 金融機関の課題



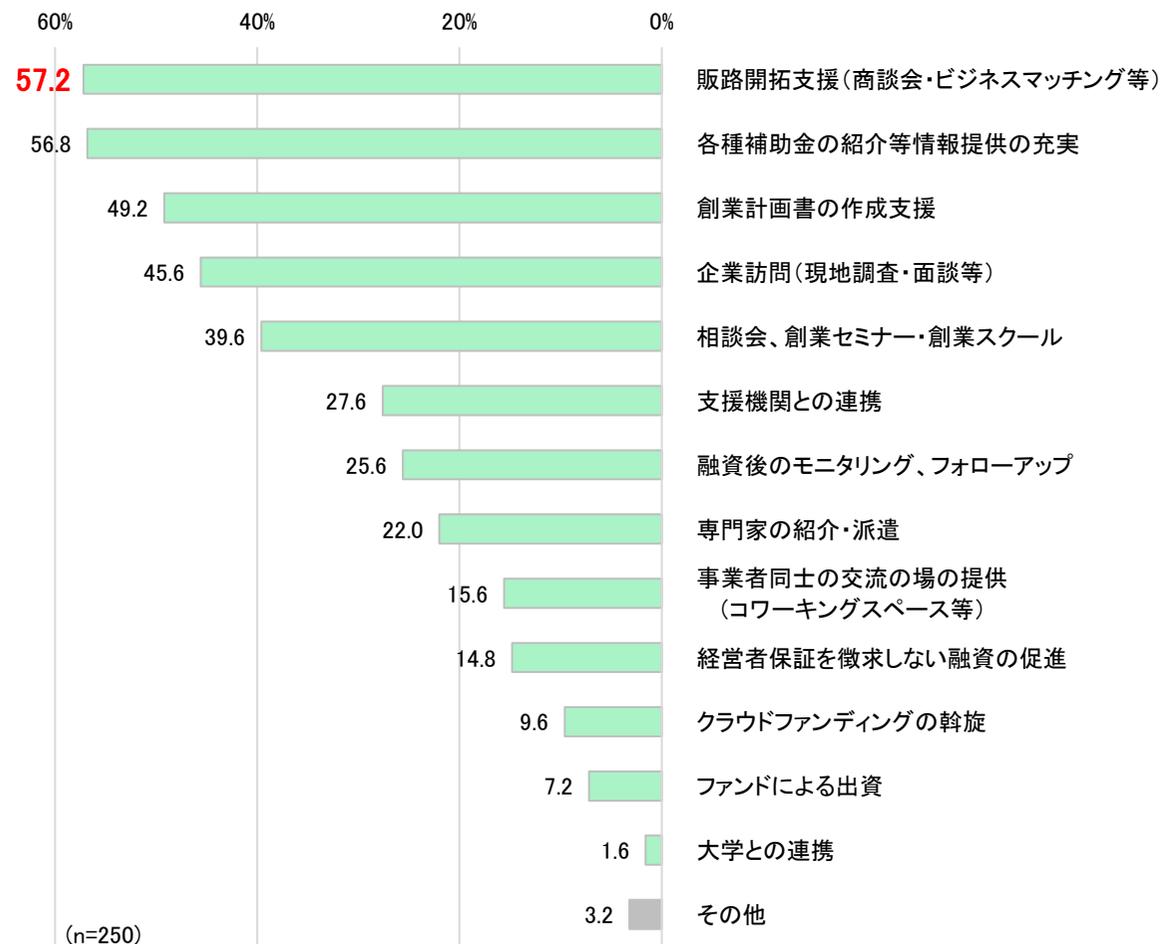
(注) (1)、(2)は複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

特別調査 創業支援に関する取組みについて

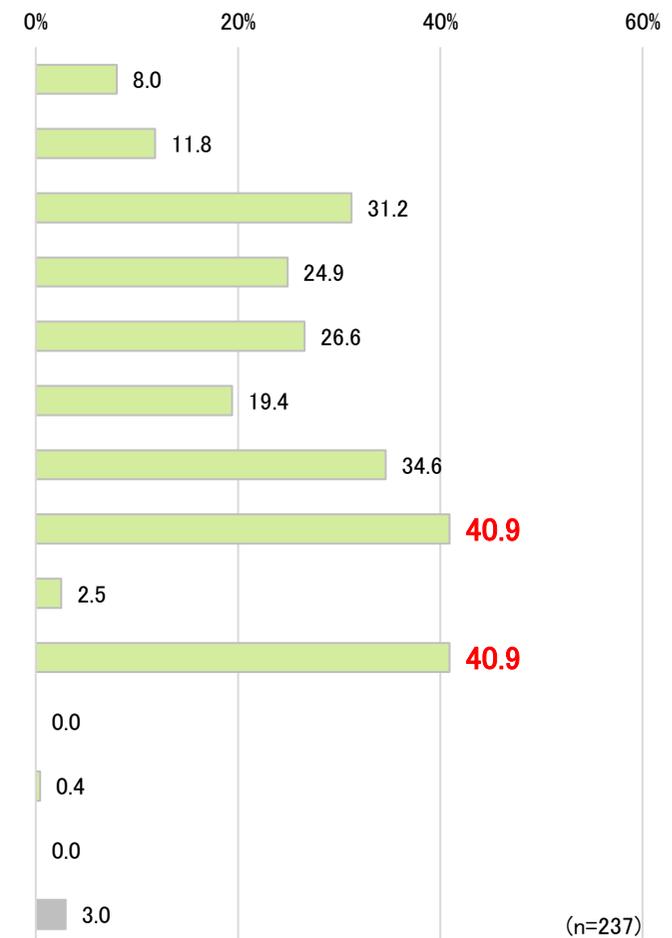
4. 特に注力している創業支援の取組み

- ・金融機関が特に注力している創業支援の取組みのうち、金融機関独自に行っている取組みは、「販路開拓支援（商談会・ビジネスマッチング等）」（57.2%）が最も多い。
- ・保証協会と連携して行っている取組みについては、「専門家の紹介・派遣」及び「経営者保証を徴求しない融資の促進」（40.9%）が最も多い。

(1) 金融機関独自に行っている取組み



(2) 保証協会と連携して行っている取組み

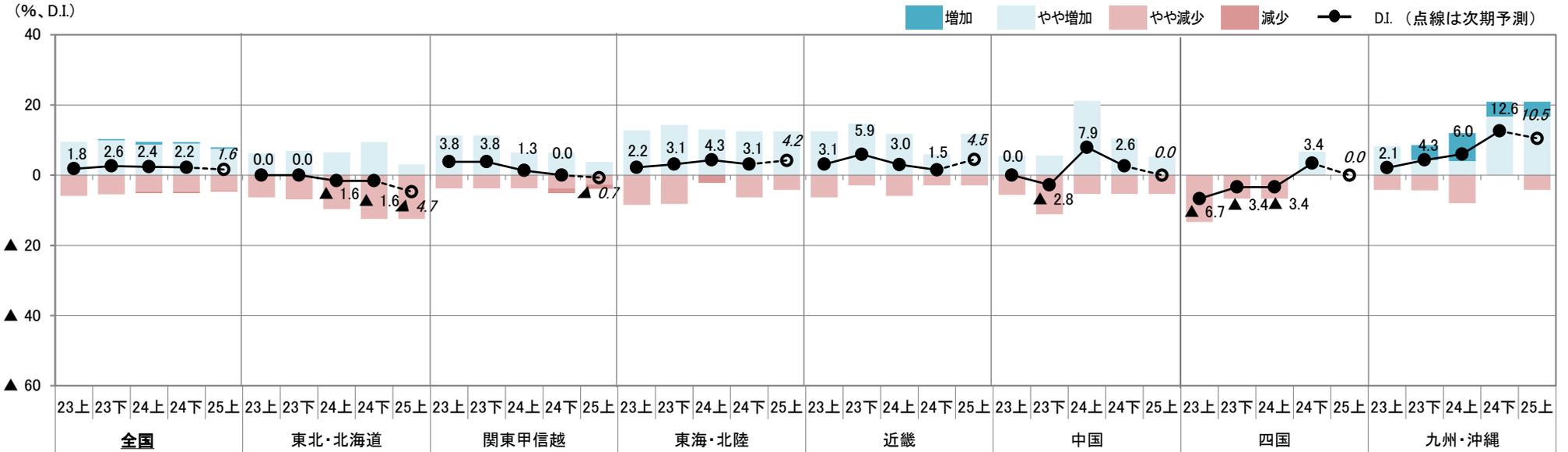


(注) (1)、(2)は複数回答(5つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

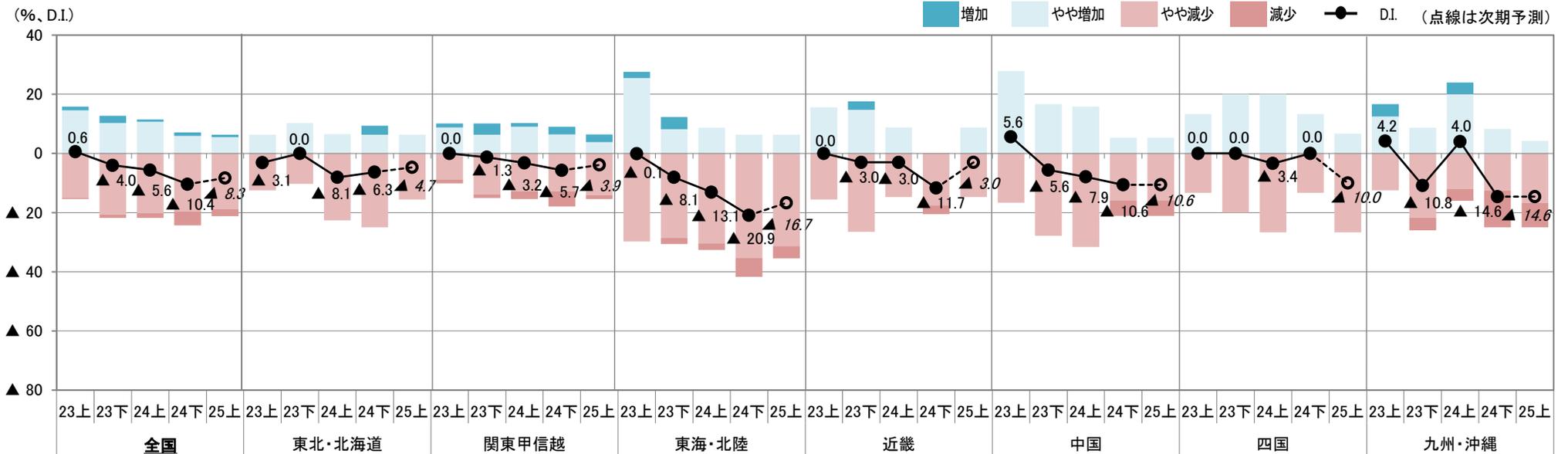
参考編

定例調査

1. 中小企業向け貸出D.I.の推移【地域別】



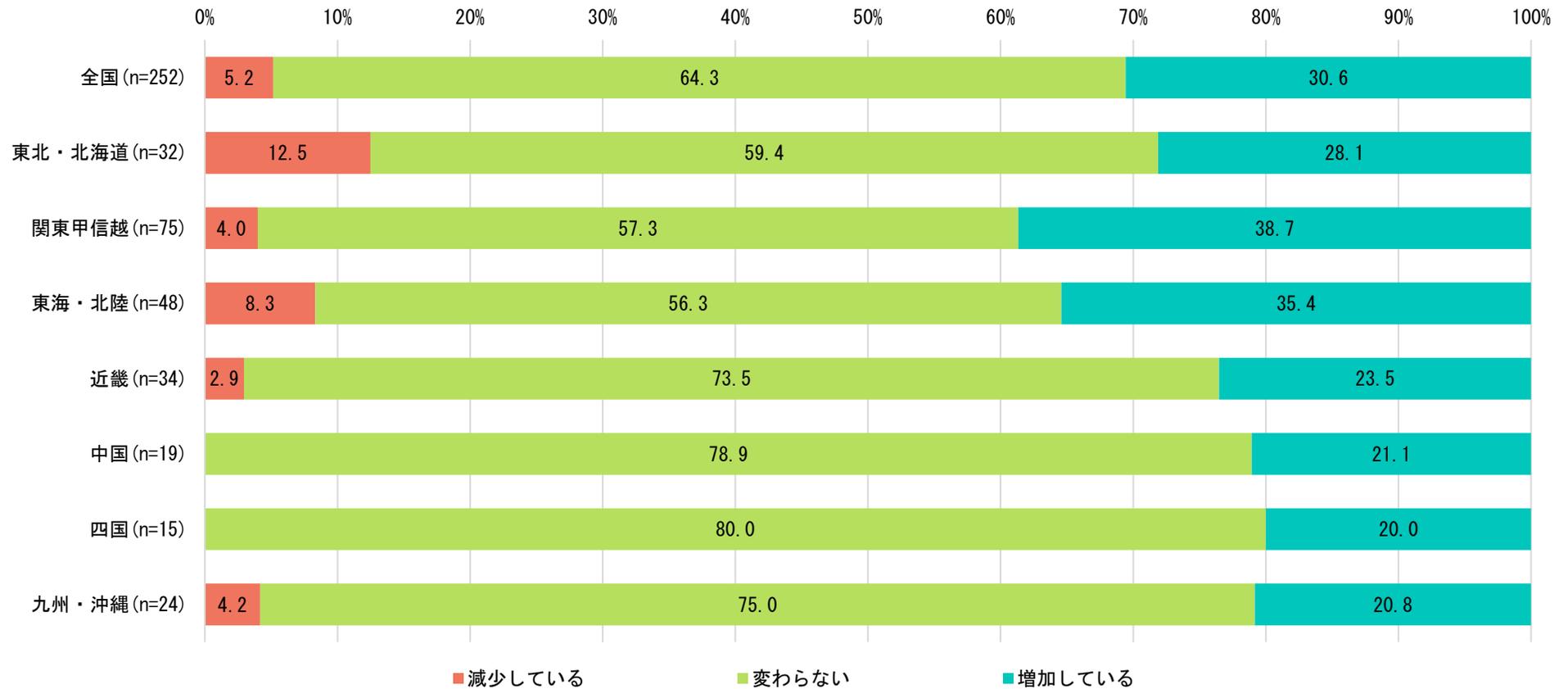
2. 信用保証付貸出D.I.の推移【地域別】



特別調査 創業支援に関する取組みについて

1. 創業支援に関する資金ニーズについて【地域別】

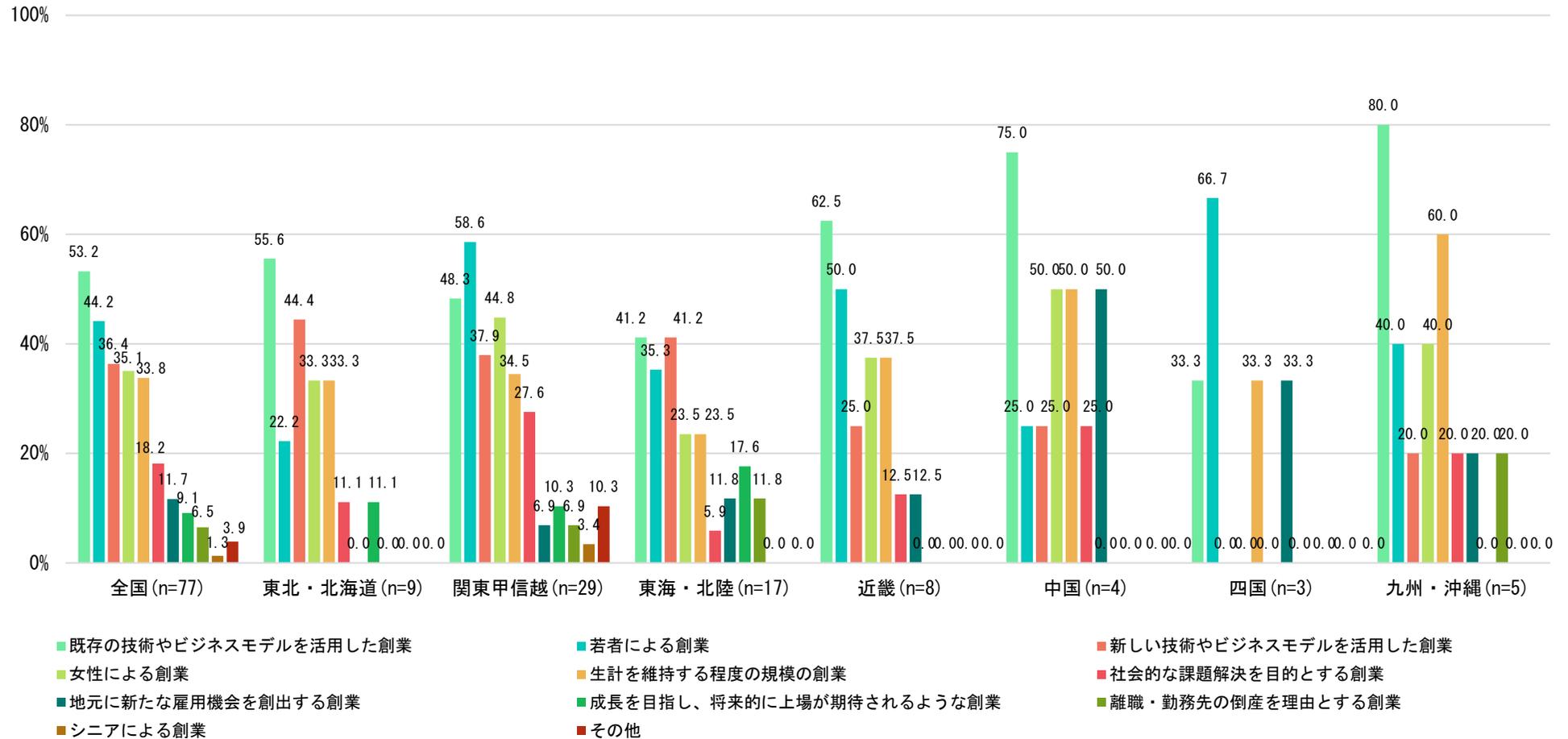
(1) コロナ禍前と比較した資金ニーズの変化について



特別調査 創業支援に関する取組みについて

1. 創業支援に関する資金ニーズについて【地域別】

(2) 増加している金融機関における資金ニーズについて



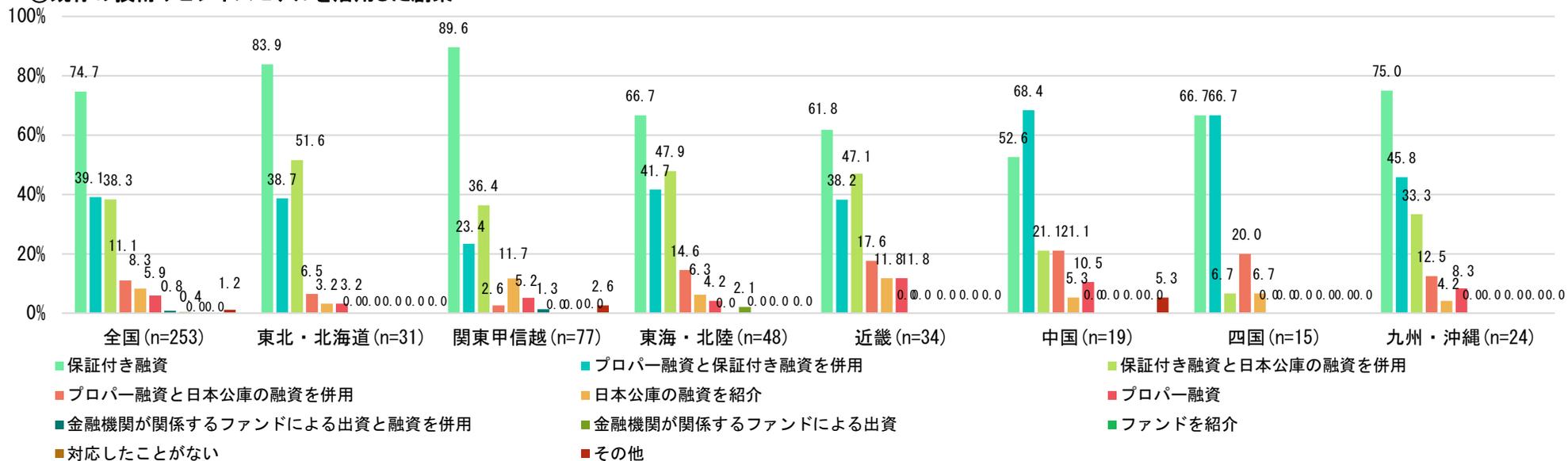
(注)複数回答(いくつでも回答可)のため、合計は100%を超える。

特別調査 創業支援に関する取組みについて

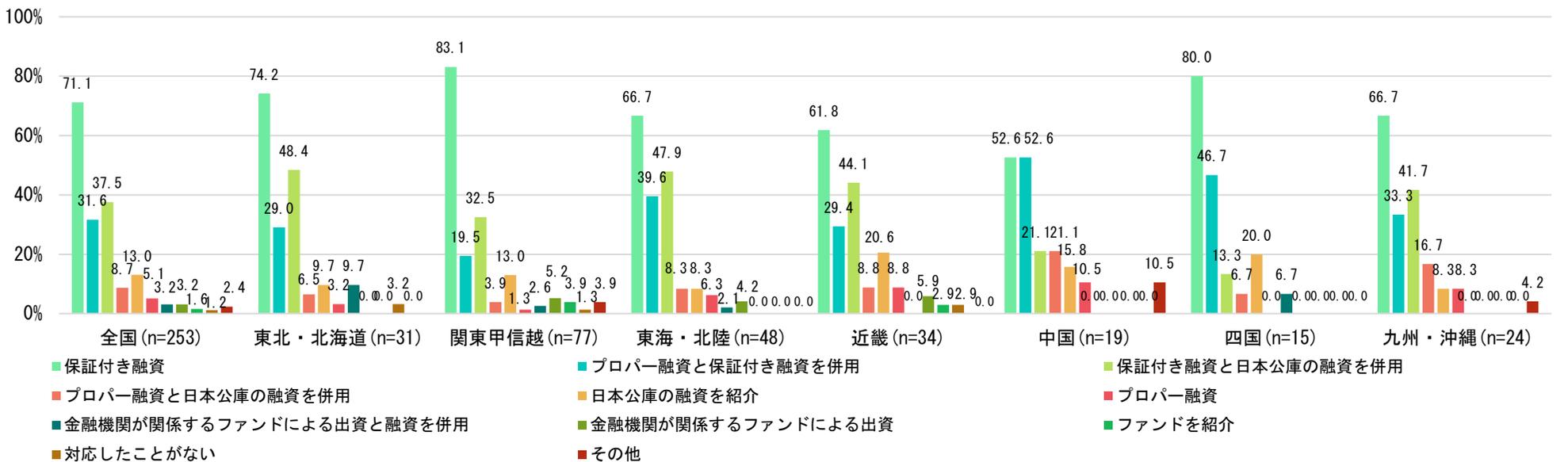
2. 創業支援に関する資金ニーズへの対応【地域別】

(1) 資金ニーズへの対応について

① 既存の技術やビジネスモデルを活用した創業



② 新しい技術やビジネスモデルを活用した創業

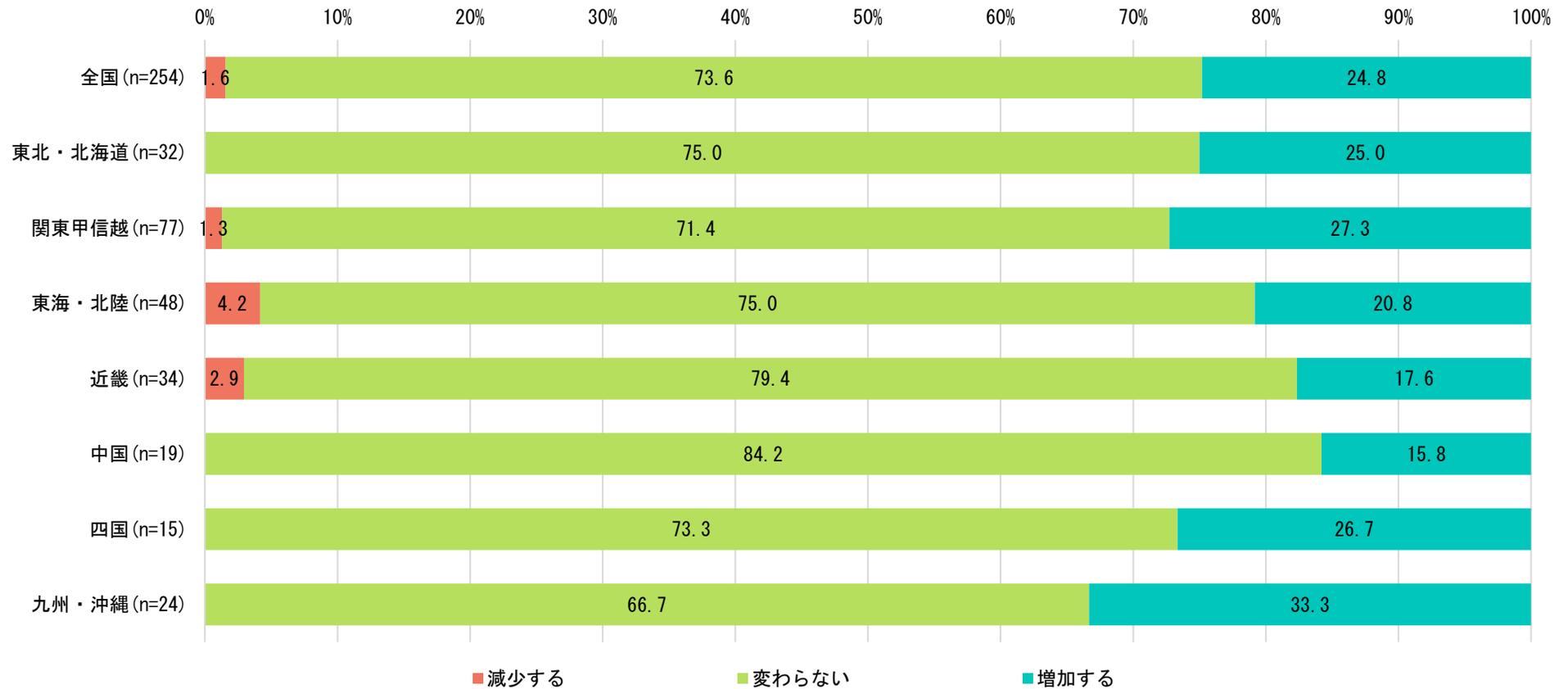


(注)①、②は複数回答(2つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

特別調査 創業支援に関する取組みについて

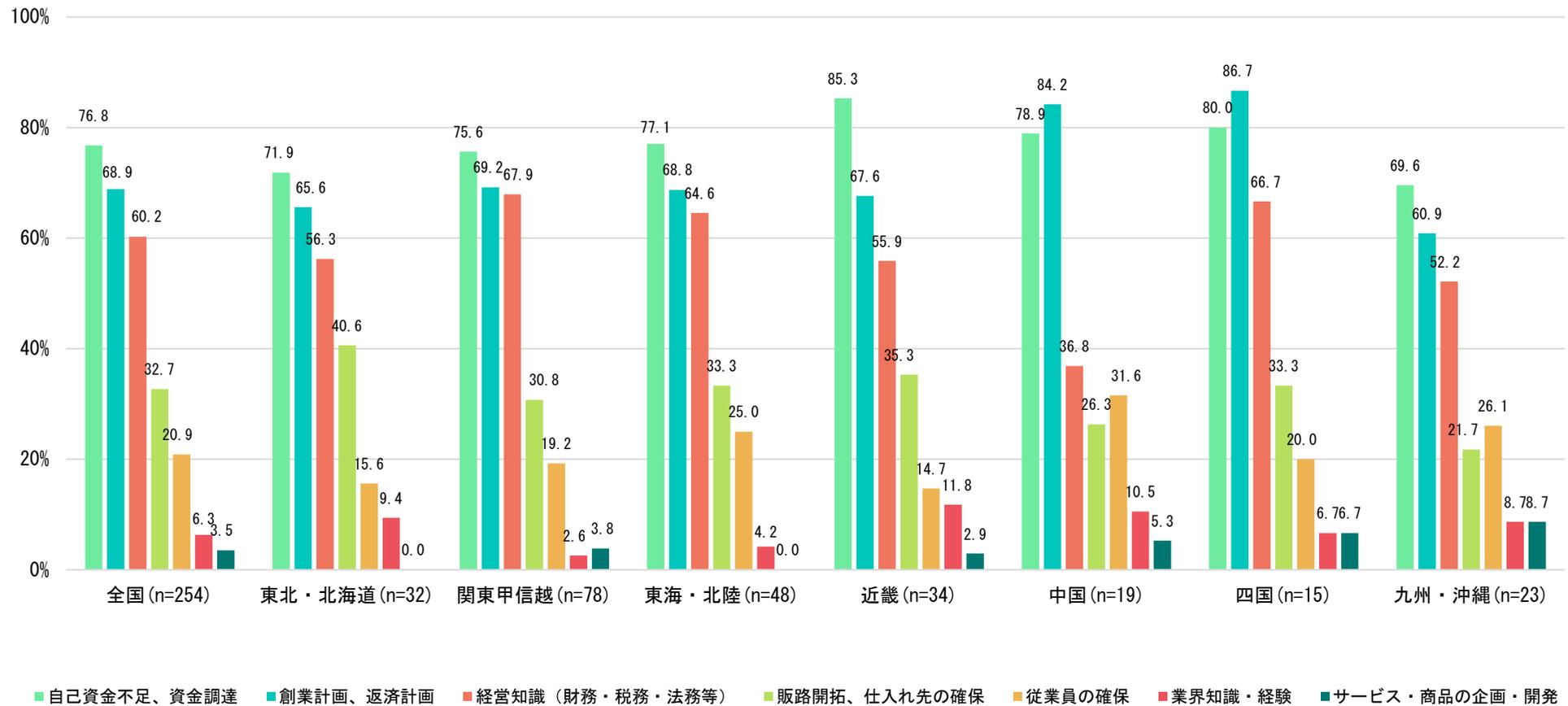
2. 創業支援に関する資金ニーズへの対応【地域別】

(2) 信用保証制度の今後の利用見通しについて



3. 創業支援に関する事業者の課題及び金融機関の課題【地域別】

(1) 事業者の課題



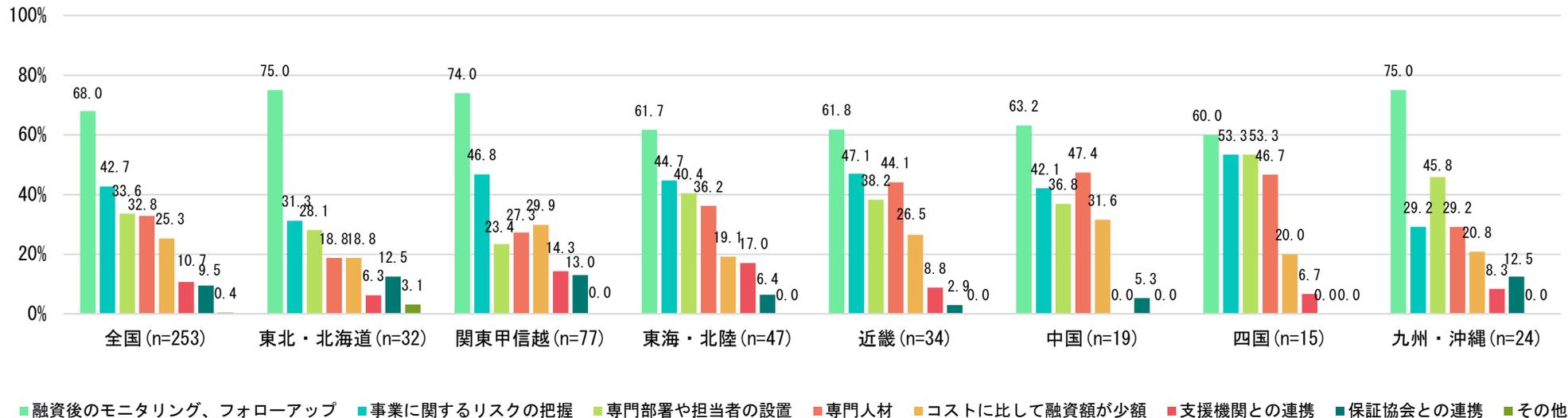
(注)複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

特別調査 創業支援に関する取組みについて

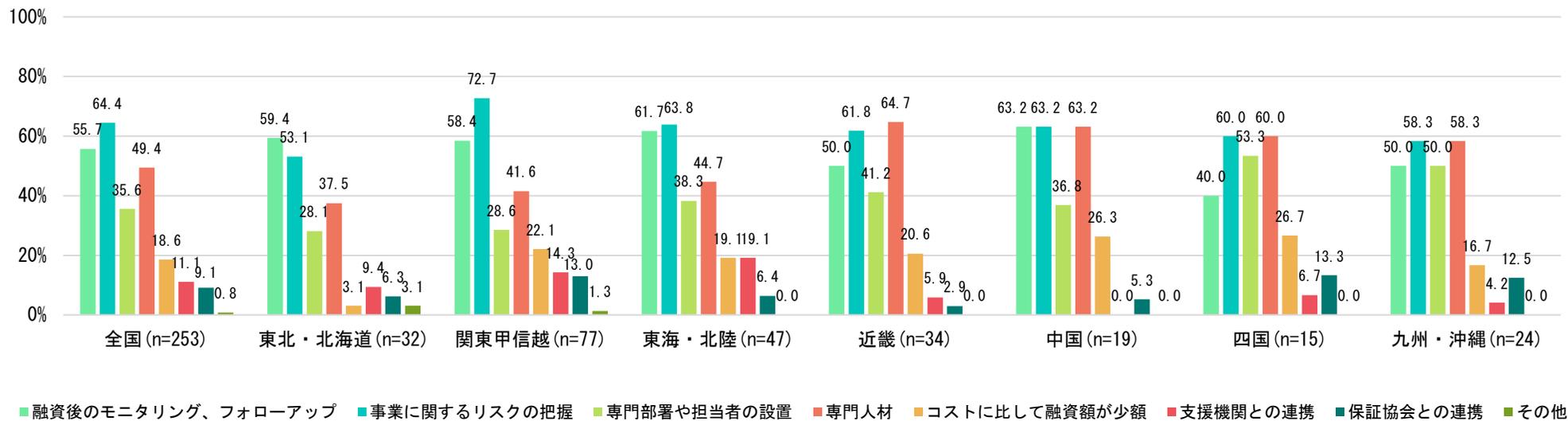
3. 創業支援に関する事業者の課題及び金融機関の課題【地域別】

(2) 金融機関の課題

① 既存の技術やビジネスモデルを活用した創業



② 新しい技術やビジネスモデルを活用した創業

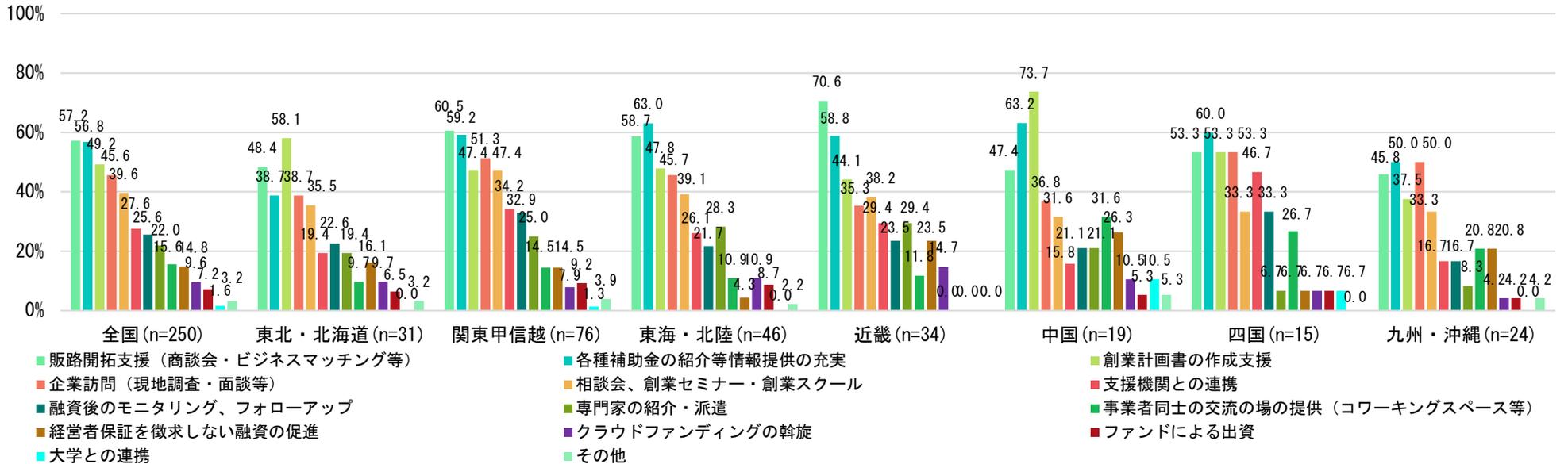


(注)①、②は複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

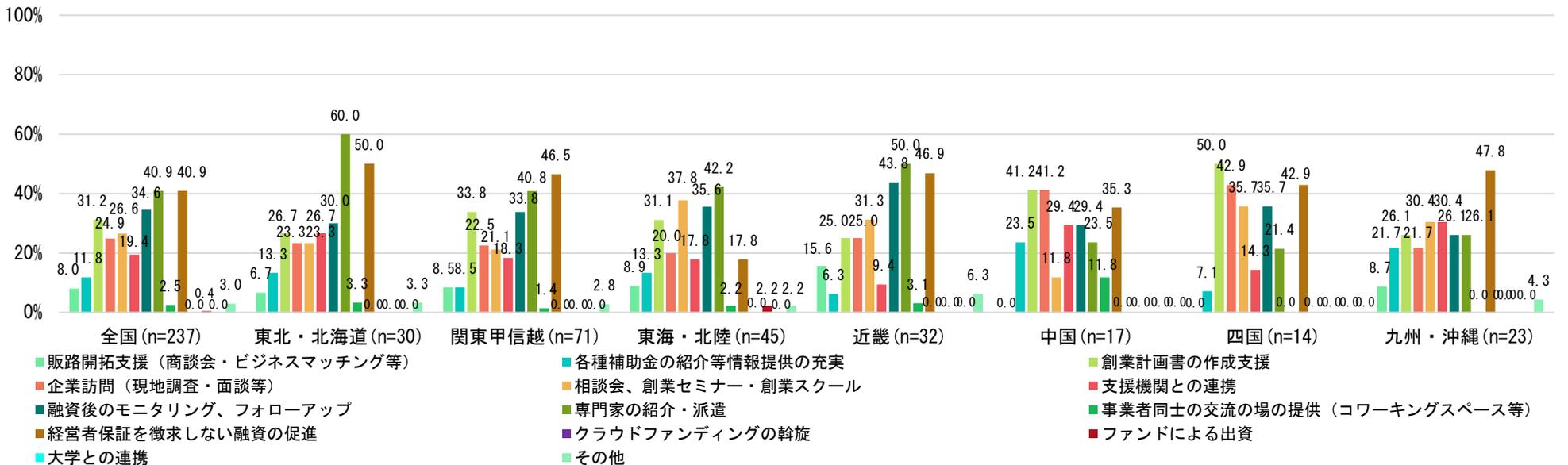
特別調査 創業支援に関する取組みについて

4. 特に注力している創業支援の取組み【地域別】

(1) 金融機関独自に行っている取組み



(2) 保証協会と連携して行っている取組み



(注) (1)、(2)は複数回答(5つまで回答可)のため、合計は100%を超える。